



幌 総 企 号  
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省 道路局長 様

幌延町長 宮 本



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号でご依頼のありました標記について、  
別紙のとおり提出いたしますので、よろしく申し上げます。

記

1. 別 紙                      中期的な計画の作成にあたっての意見                      1 枚

(総務課企画振興グループ)

**・重点化を進める上で特に優先度の高い政策**

日々の買い物や通院、通学など、生活圏が広域化している中で自動車交通への依存度が高くなっている現状に対し、道路整備はいまだ十分とは言えず、冬期間の厳しい気象条件による交通障害などを解消し、広域連携を一層進めるためにも、高規格幹線道路ネットワークの拡充、狭隘で老朽化した橋の架け替えといったことが望まれます。また、交通安全に配慮した高規格道路の整備も必要です。例えば、幌富バイパスと一般国道 40 号線をつなぐアクセス道路を早急に整備をするといった、一層の交通安全に配慮した道路整備を期待します。

また、これからの少子・高齢化社会を考えたとき、歩道の段差解消など、全ての世代に優しいバリアフリーの道路が求められます。特に冬期間の歩道の確保なども重要です。

**・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと**

効率化、使用頻度などを重視することは、一方で過疎地域などの切捨てとなると考えます。道路はそこに暮らす人々の社会、経済、日常生活において、切り離すことのできない重要な社会資本です。特に幌延町のような過疎地域においては、人と物資の円滑で安全、スピーディな流通は、安心して暮らせる生活環境づくりや活力あるまちづくりのために不可欠なものですので、無駄ははぶきつつ、地域格差をつくらぬような道路政策を進めるべきと考えます。

**・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見**

医療過疎にある道北地域においては、高度医療機関への安全で迅速な移動が、地域住民の生命を守る鍵となります。通年で安心して使える、雪や災害に強く、交通安全に配慮した道路整備を早急に進めていただきたいと考えます。

また、道路の維持補修についても、冬期間の除雪などの影響からか、融雪後には道路の凹凸や亀裂が目立ちます。雨の日などは凹凸にタイヤをとられるなど、大変危険な状況が見られます。定期的な見回り、補修の徹底などが必要ではないでしょうか。

北海道は観光の地でもあります。この雄大で美しい北海道の自然景観を大切に、観光客や地元の人々に癒しを与えられる環境を大事にしなくてはなりません。そのためには、収納式の防雪柵の設置や景観に配慮した周辺施設等の整備などを進めていただきたいと考えます。